

中干し・水管理の記録（生産管理記録）

生産者名：_____ 年産：_____ 品種：_____ 記入者：_____

圃場番号・地番	水稻作付面積（a）	田植え日（播種日）	中干し開始日（取水口閉・排水口開）	中干し終了日（取水口開・排水口閉）	中干し日数	前2年の平均日数	延長した日数	溝切り日	出穂日（5割出穂）	証跡（写真・センサー）	記録日・記録者

- 中干しの開始日は取水口を閉めて排水口を開けた日、終了日は取水口を開けた（または排水口を閉めた）日です。中干しの途中で水を入れると、その時点で中干しは終わった扱いになります（J-クレジットの方法論の考え方）。
- J-クレジットの「中干し期間の延長」は、その水田の直近2年以上の平均日数より7日以上、続けて長く干す取組です。取り組む前に2年分の記録が必要です。証跡として、開始日と終了日の取水口・排水口の写真（撮影日と場所がわかるもの）や水管理システム・水位センサーの記録を残します。
- 同じ管理（中干しの日数・出穂日・稲わらと堆肥の扱いが同じ）の水田はまとめて1行に書けます。管理が違う水田は行を分けます。
- 多面的機能支払の「長期中干し」は、14日以上の中干しと溝切り（10aあたり1本以上）が要件の目安です。日数の数え方や提出様式は、プロジェクトの運営・管理者や活動組織・市町村の指示に従ってください。
- 記入例の地名・日付・日数は架空のものです。

稲わら・堆肥・日減水深の記録

生産者名：_____ 年産：_____

圃場番号・地番	前作の稲わら（すき込み／持ち出し量 kg/10a）	堆肥（施用日・量 kg/10a）	日減水深の測定日時（24時間）	24時間で下がった水位（mm）	雨が降らなかった確認	証跡	記録日・記録者
例 北田1～3	全量すき込み（前年11/5）	なし	5/17 9:00～5/18 9:00	15	最寄りのアメダスで降水量0mm	定規と水面の写真（開始・終了）	5/18 山田

- 日減水深は、田植え頃の雨の降らない日に取水口と排水口を閉め、24時間で下がった水位を測ります。記録には1.22を掛ける前の読み取り値を書きます。測定は任意で、測らなくても取り組みます。
- 「前作」は直前の稲作のことです。全量すき込み・全量持ち出しのときは、その旨を書きます。